

ART用研究試薬
コンプリート
培地
(血清入り)

90165 Continuous Single Culture Complete



コンティニューアス シングルカルチャー コンプリート (HSA入り)

容量：20mL × 2本

配偶子や胚の処理、媒精からday5/6までの胚培養用一液式培地 (HSA入り)
day1からday 5/6までディッシュ交換および培地交換無しで培養可能

【使用目的】

配偶子や胚の処理及び媒精から day 5/6 までの胚培養。

【品質確認試験】

ロットごとにpH, Osmolality, Endotoxin, Mouse Embryo Test, Human Sperm Survival Assay (HSSA)及び無菌性が試験される。

【緩衝能】

Sodium Bicarbonate (炭酸水素ナトリウム) の緩衝能を利用しており、CO₂インキュベーター内での使用に適す。

【使用方法】

ヒト血清アルブミン(HSA)が5 mg/mLで添加されているため、タンパク質サプリメントを添加する必要はない。

※ドロップ培養の場合、1胚あたり25μL以上の液量を有することが好ましい。

平衡化

Continuous Single Culture Complete (CSCM-C) を使用前に37°Cに加熱、CO₂インキュベーター(濃度5-6%)で一晩、至適pH(7.26-7.35)になるよう平衡化する。

CSCM-Cでの培養事例

(媒精)

採卵前日にオイルでカバーし、CSCM-Cメディウムを供した採卵用ディッシュおよび媒精用ディッシュを作製し、5-6%CO₂インキュベーターで37°Cで一晩平衡化する。採卵後、直ちに卵子を、採卵用ディッシュに移し、IVFまたはICSIによる媒精前、CO₂インキュベーター1-4時間、前培養する。

●C-IVF

- 1-3個卵子を含むマイクロドロップあたり、50,000-100,000/mL精子を、無菌的に供する。
2. 正常受精のため16-20時間、CO₂インキュベーターで培養する。

●ICSI

1. 裸化後1時間以上経過(採卵後4時間以上経過していない)後、CO₂インキュベーターから卵子を取り出し、各施設のプロトコールに従ってICSIを実施する。
2. ICSI後直ちに、事前に平衡化した媒精ディッシュの新しいドロップにICSIした1-3個の卵子を置く。正常受精のため16-20時間、CO₂インキュベーターで培養する。

(胚培養)

媒精日(受精確認の前日)にオイルでカバーし、CSCM-Cを供した胚培養用ディッシュを作製し、5-6%CO₂、37°Cで一晩平衡化する。

1. 継続培養する場合

正常受精(2前核および2極体)が確認された後、事前に準備した平衡化済みのCSCM-Cに2PN接偶子に移し、目的とする胚の発生段階(day 5/6)まで培地交換せずに継続培養する。

2. 培地交換する場合

受精が確認された胚をday3を超えて培養する場合は、48時間毎に培地交換する。

【保存温度】 2-8°C

【組成表】 p 48 参照

【有効期間】 製造後120日

※開封後の有効期限

使用上の注意に従い、適正温度で保管すれば、開封後8週間まで使用可能である。
但し、その期限が、ラベル記載の有効期限より長い場合は、ラベル記載の有効期限までとする。

【使用上の注意】

培養液中に異物や濁りがみられた場合及び培養液が薄いオレンジ色でない場合には使用しないこと。

培養液の汚染を防ぐため無菌操作で取り扱い、余剰分は廃棄すること。
Gentamicin に対するアナフィラキシーを引き起こす可能性のある場合は使用しないこと。

注射用に使用しないこと。

ヒト由来成分が含まれており感染の可能性が否定されたものではないので感染防止の措置をとること。

凍結させたり39°C以上にしないこと。

【参考文献】

CSCM (カタログ番号 90164) 参照

